【資料４】

令和８年度第１回
埼玉中高年世代活躍応援プロジェクト協議会資料

「埼玉中高年世代活躍応援プロジェクト協議会」
事業実施計画に基づく主な取組・実績

【さいたま市】

日時　令和８年７月29日（水）午後２時～
場所　埼玉労働局14階雇用保険説明会場

事業実施計画に基づく主な取組（令和７年度実績）

さいたま市

○ 不安定な就労状態にある方への支援
【相談・セミナー／マッチング及び職場定着支援／地域の企業向け支援】
「ワークステーションさいたま」での令和7年度における中高年世代の延べ利用者・参加者数は1，740人。
そのうち、正社員就職者数は66人となりました。

キャリアコンサルティング・セミナー

延べ利用者数	1，653人
就職者数	141人
うち正社員就職者数	52人

＜主な取組＞
・キャリアコンサルタントによる個別相談や応募書類添削・面接指導等を実施。
・「ビジネスマナー講座」、「世代ごとの働き方プラン」など、就職支援セミナーを開催。

インターンシッププログラム

参加者数	29人
就職者数	12人
うち正社員就職者数	7人

＜主な取組＞
・通常コース（対象年齢：満50歳未満）を2回、中高年求職者対象コース（対象年齢：概ね35歳以上満60歳未満）を1回、計3回のインターンシッププログラを実施。
※10日間の座学研修、1日間のパソコン研修、企業の採用担当者との座談会（カジュアル面談）の後、3日間程度の市内企業へのインターンシップを実施。

就業体験付きスキルアップ講座

参加者数	58人
就職者数	33人
うち正社員就職者数	7人

＜主な取組＞
・女性求職者対象に「保育アシスタント講座」、「ビジネスパソコン講座」を開催。
・中高年求職者対象に「ビジネスパソコン講座」、「介護職基本講座」を開催。
※全ての講座で、社会人基礎研修、専門スキル研修や市内企業での就業体験を実施。

事業実施計画に基づく主な取組（令和７年度実績）

さいたま市

○ 就業を希望しながらも長期にわたり無業の状態にある方への支援

【相談・セミナー等】

「地域若者サポートステーションさいたま」において、市委託事業として、臨床心理士によるカウンセリング、就労意欲を高めるためのセミナー、就農体験や短期の就業体験、家族セミナー等を実施しました。

「地域若者サポートステーションさいたま」における市委託事業の令和7年度における中高年世代の延べ利用者数は261人となりました。

○ 自らの意思により今後の生き方や社会との関わり方を決定できるよう丁寧な支援を必要とする方への支援

【相談支援等】

・ひきこもり相談センターにおいて、相談支援、グループ支援を行いました。

・ひきこもり（※リレート）サポーターを8名養成し、75回派遣しました。

※リレートとは、ポルトガル語で「つなぐ」という意味で市独自の名称です。

相談支援	件数	相談支援	件数
電話	805件	面接	835件
訪問	67件	メール	152件

グループ支援	目的	内容	回数	参加人数
コレッタ・ひととき（思春期成人期グループ）	コミュニケーション等社会的スキルを身に付ける	スポーツ、作業、コミュニケーション講座、季節のイベント等	57回	126人
ステップアッププログラム（コレッタ・ひととき参加者）	就労に向けて必要な知識やマナーを身に付け、就労意欲を高める	地域若者サポートステーションさいたま見学、マナー講座	3回	6人

社会参加活躍支援等孤独・孤立対策推進交付金事業に係る効果検証について（令和７年度実績）

さいたま市

１　重要業績評価指標（KPI）

指標名	令和7年度目標値	令和7年度実績値
地域若者サポートステーションさいたま就職等進路決定者数	114人	164人
若年無業者等短期集中支援プログラム参加者の就職等進路決定率	55%	71．4%

２　事業の成果

（1）　地域若者サポートステーションさいたま就職等進路決定者数

- 臨床心理士等による心理カウンセリングをはじめ、就労意欲を高めるセミナーやコミュニケーション能力向上のワークショップ、ミニ講座を実施。また、社会体験の機会を提供し、コミュニケーション能力や自立に向けた意識向上を図るため、グループでの就農体験や、社会人基礎力の向上や職業理解の啓発を図るための就業体験を実施。
- 市委託事業の延べ利用者数は906人、就職等進路決定者数は164人（正規就職21人、非正規就職129人、職業訓練11人、進学3人）となった。
- 国事業と連携した就職支援を実施し、ひきこもり等様々な状況にあって働くことに不安や悩みを抱えている方の職業的自立に向けた支援を行った。
- 一人ひとりの状況に応じた計画的な一連の支援によって効果的・効率的な成果につなげた。

（2）　若年無業者等短期集中支援プログラム参加者の就職等進路決定率

- 少人数のグループ制による就労に結び付く短期集中プログラムを実施（第1グループ：7人、第2グループ：7人）。
- 40代無業者をはじめとする幅広い世代を支援対象者として、14人（10代2人、20代5人、30代4人、40代3人）が参加し、10人が進路決定（正規就職2人、非正規就職5人、職業訓練2人、進学1人）となった。
- 参加者は、すぐに就労可能な者から長期の支援を必要とする者まで様々であり、セミナー等による支援と併行したキャリアカウンセリング等の個別支援が課題。
- 短期集中的な支援で進路決定に至らない者に対しては、個別面談等の継続的な伴走支援を実施した。